



今こそ力をかしてください！ 一日も早い復旧のために

7月末に発生した新潟・福島豪雨により、福島県只見町・金山町では甚大な被害が生じました。

8月1日に只見町(ただみまち)災害ボランティアセンター、8月3日に金山町(かねやままち)災害ボランティアセンターが立ち上がりました。

現在、地域の住民の方々や県内外からのボランティアが泥だしや片づけ作業にあたっています。

今回の水害は浸水被害だけでなく、多量の土砂が家屋に流入しています。そのため作業には相当な人手が必要です。



只見町災害ボランティアセンター
所長 五十嵐善久さん

只見町は、高齢化率が県内でも4番目と高い地域です。今回の水害では部落全体に大きく被害を受けていて、泥だしといった重労働は高齢者の助け合いだけでは限界があります。

また現在、道路や橋が寸断され立ち入れない地区が2か所もあります。今後、簡易道路や橋ができると、その地域に新たなニーズが発生することが見込まれます。

住民は復旧作業を通じて、ボランティアの皆さんに大きな励ましをもらっています。これからも多くの人手が必要です。ぜひ継続的な支援をお願いします。



金山町災害ボランティアセンター
所長 加藤ゆきさん

現在、地区ごとに復旧作業を進めており、4地区でボランティアと住民が家屋の泥だしを行っています。大洪水から1週間が経ちましたが、被害の大きさに住民の方には疲れが見え始めています。

センターとして、多くのボランティアにご協力をいただき、住民の助け合いだけでは手が回りきらないところに、ていねいなお手伝いをしていきたいと考えています。

活動を通してつくられた絆を大切に、ボランティアの方には「元気になった金山町にまた来たい」と思っていたきたいと思っています。

